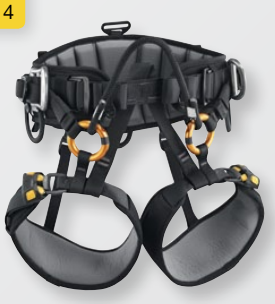
Laurent Pierron, Thierry Charlaix, Loriol, France © Boris Dufour

高所作業車やはしご等の使用が不可能もしくは不適切な場合、アーボリストはロープアクセス技術を使用します。地上からロープを枝にセットし、木の形や高さに応じてシステムや器具を選択してロープを登高します。作業箇所に着いたら、ハーネスのアタッチメントブリッジと調節型ランヤードを使用してワークポジショニングを取ります。このように、剪定や伐採を行う際は２つのシステムを使用してバックアップを取る必要があります。

NEW 2014



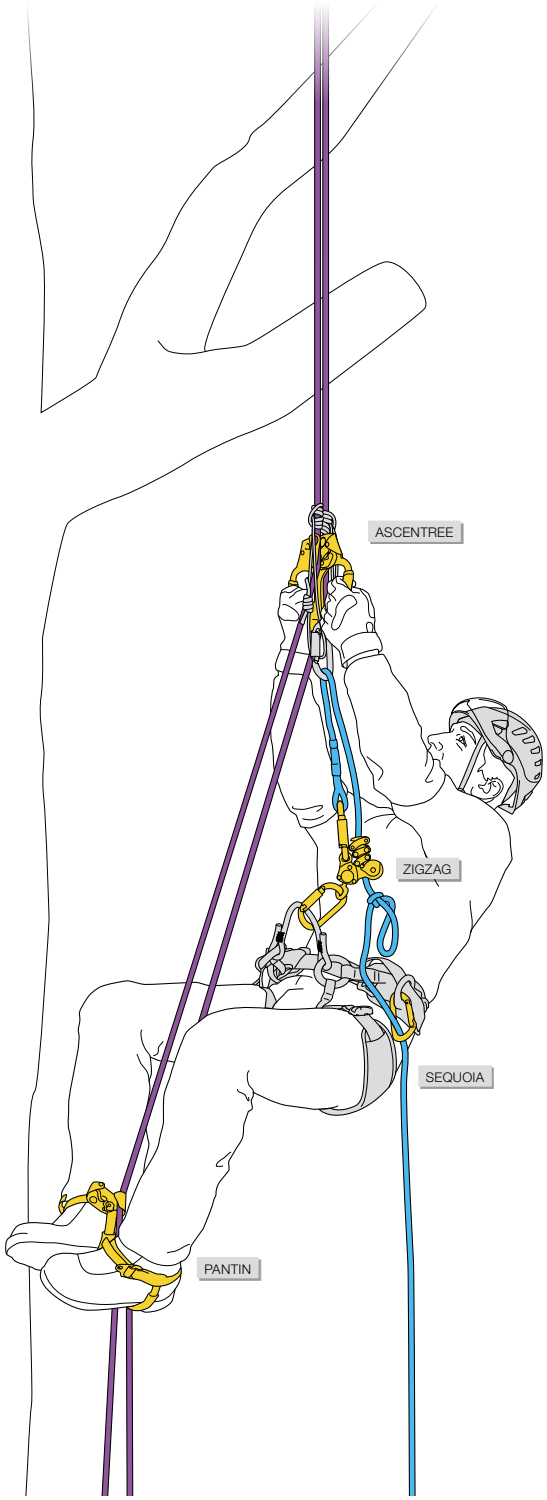
SEQUOIA SRT

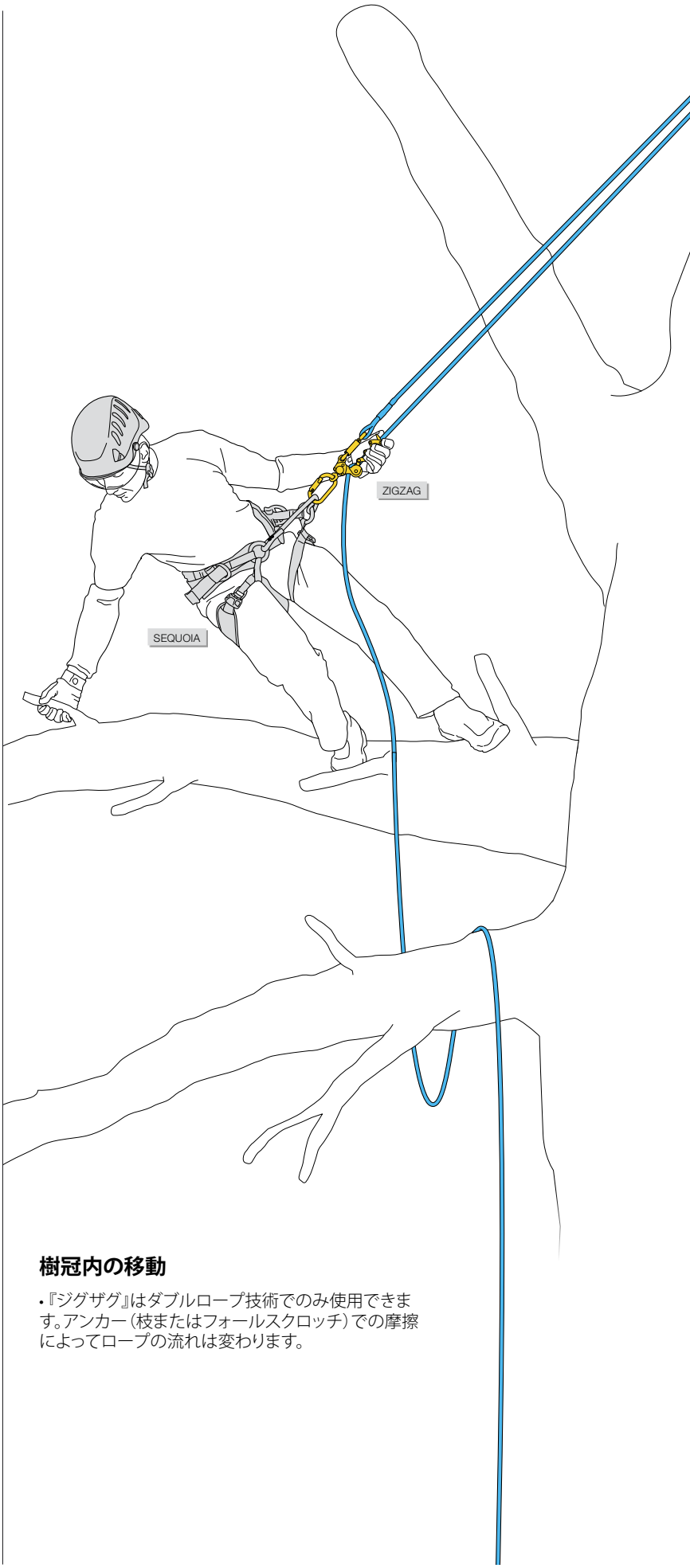
『セコイア SRT』は、シングルロープでのロープ登高に適したツリーケア用シットハーネスです。アーボリストが快適に使用できるようにデザインされています。幅が広いセミリジッド構造のウエストベルトとレッグループはサポート性に優れています。アタッチメントブリッジはゲート付きのリングに取り付けてあるので、取り外して長さを変更したり、アクセサリーを直接取り付けたりすることが可能です。

ツリーアクセス

• ダブルロープアクセス技術

作業者はアクセスロープ（紫色）を登ります。蜂に襲われたとき等には、作業ロープ（青色）を使用してすぐに下降することができます。『ジグザグ』から出ている末端側のロープは、ミュールノットやその他の解除可能なノットで固定します。この方法はとても効率的です。



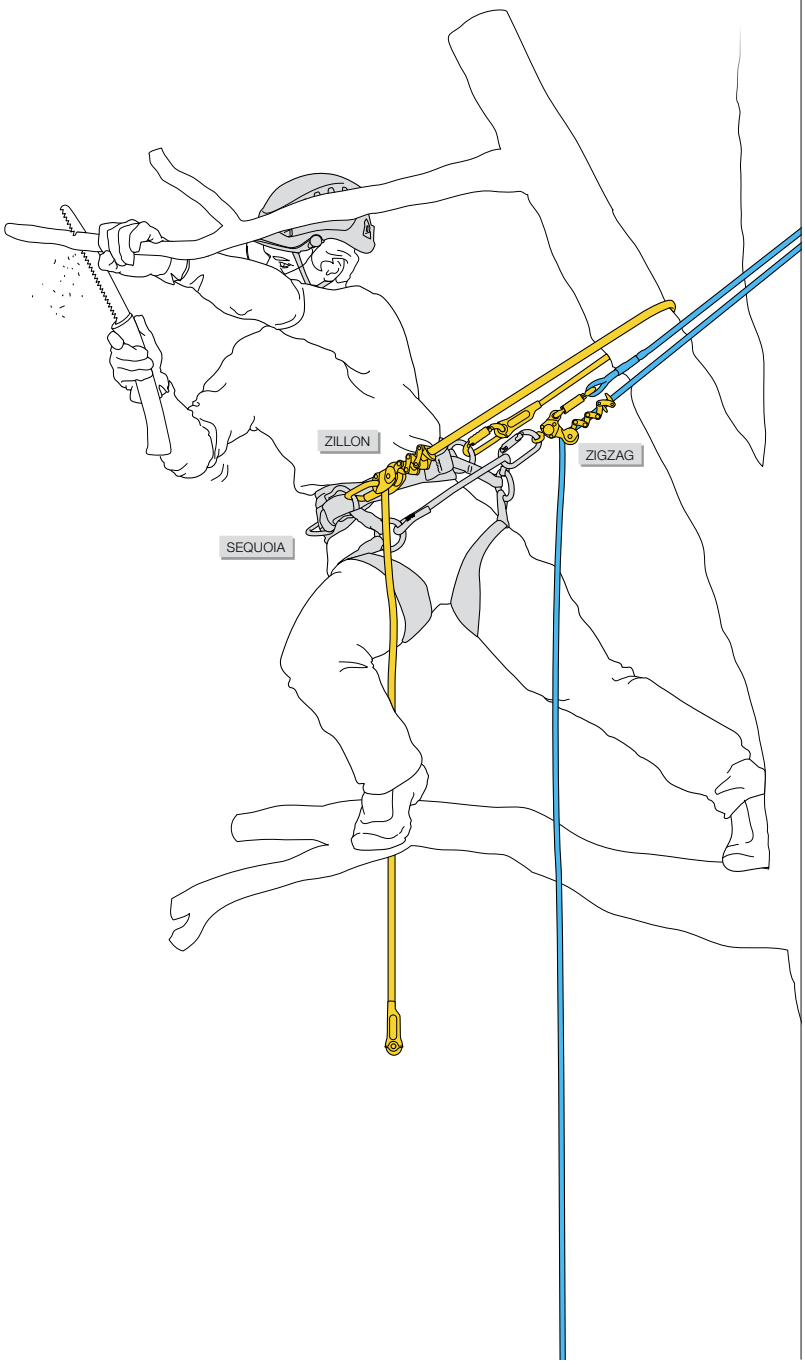


樹冠内の移動

• 『ジグザグ』はダブルロープ技術でのみ使用できます。アンカー（枝またはフォールスクロッチ）での摩擦によってロープの流れは変わります。

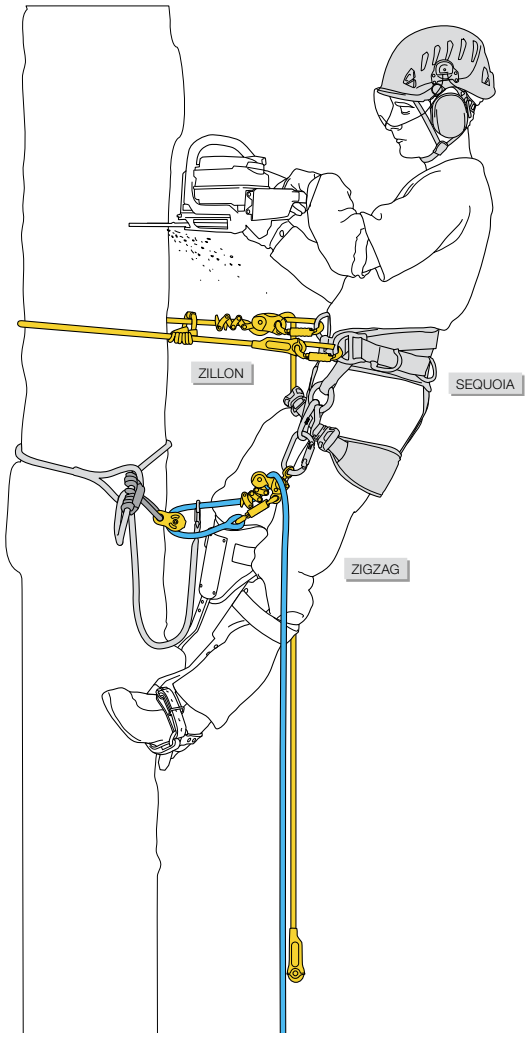
2点で支えるワークポジショニング

• 作業ロープにセットした『ジグザグ』と、別のアンカーにセットした調節型ランヤード『ジヨン』で体を安定させます。



幹の切断

• バックアップシステムをセットして行う切断作業。『ジグザグ』を使用すると、緊急時の下降システムとして使用可能なバックアップシステムをセットすることができます。



petzl.com

『ジヨン』及び『ジグザグ』のさらに詳しい使い方については、取扱説明書及びプロダクトエクスペリエンスをご覧ください。www.petzl.com/ZILLON、www.petzl.com/ZIGZAG

こちらに掲載した内容はすべてを網羅するものではありません。他の頃や取扱説明書、技術資料もご参照ください。技術的なトレーニングも必ず行ってください。